



2020年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月14日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 治

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

定時株主総会開催予定日 2020年11月26日

配当支払開始予定日

2020年11月27日

有価証券報告書提出予定日 2020年11月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期の連結業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	1,574	17.3	297	14.8	305	15.7	204	15.2
2019年8月期	1,903	3.9	349	66.9	361	64.5	241	66.7

(注) 包括利益 2020年8月期 204百万円 (15.2%) 2019年8月期 241百万円 (66.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年8月期	95.17		4.9	4.7	18.9
2019年8月期	112.28		5.9	5.4	18.4

(参考) 持分法投資損益 2020年8月期 百万円 2019年8月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年8月期	6,340	4,255	67.1	1,980.23
2019年8月期	6,649	4,104	61.7	1,910.06

(参考) 自己資本 2020年8月期 4,255百万円 2019年8月期 4,104百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年8月期	374	11	383	127
2019年8月期	906	111	753	124

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年8月期		12.50		12.50	25.00	53	22.3	1.3
2020年8月期		12.50		12.50	25.00	53	26.3	1.3
2021年8月期(予想)		12.50		12.50	25.00		22.2	

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難なことから、2021年8月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想については未定とさせていただきます、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期	2,901,000 株	2019年8月期	2,901,000 株
期末自己株式数	2020年8月期	752,192 株	2019年8月期	752,192 株
期中平均株式数	2020年8月期	2,148,808 株	2019年8月期	2,148,808 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費や企業活動が停滞したことにより、厳しい状況で推移しました。経済活動は段階的に再開の動きがみられるものの、依然として先行き不透明な情勢となっています。

このような状況下、当社グループにおいては、服飾事業は4月の緊急事態宣言からの百貨店などの休業により、大きく影響を受けたものの、賃貸・倉庫事業に関しては稼働率も高く、引き続き底堅く推移しました。また、更なるコスト削減に取り組み、利益体質の強化を図りました。この結果、当連結会計年度の連結業績は売上高は1,574,948千円（前連結会計年度比17.3%の減少）となり、営業利益は297,645千円（前連結会計年度比14.8%の減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は204,511千円（前連結会計年度比15.2%の減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①服飾事業

当事業部門におきましては、新型コロナウイルス感染症による百貨店などの休業の影響が大きく、販売体制の見直し、一層のコストダウン、販売在庫品目の整理などで収益体質の改善に努めました。この結果、売上高は564,128千円（前連結会計年度比36.8%の減少）となり、営業損失は68,392千円（前連結会計年度は営業損失61,808千円）となりました。

②賃貸・倉庫事業

当事業部門におきましては、新型コロナウイルス感染症による影響は軽微であり、売上高は稼働率高く底堅く推移したものの、修繕による設備更新工事が重なり、費用が増加することとなりました。この結果、売上高は1,010,820千円（前連結会計年度比0.1%の減少）となり、営業利益は364,915千円（前連結会計年度比11.0%の減少）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比べ309,203千円（4.6%）減少し、6,340,761千円となりました。内訳としては、流動資産は前連結会計年度末と比べ36,052千円（5.9%）減少し、573,980千円となりました。

これは、主に売掛金が18,300千円（33.7%）減少したことによるものであります。固定資産は前連結会計年度末と比べ273,152千円（4.5%）減少し、5,766,780千円となりました。これは、有形固定資産が247,911千円（4.3%）減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度における負債は、前連結会計年度末と比べ459,994千円（18.1%）減少し、2,085,627千円となりました。内訳としては、流動負債は前連結会計年度末と比べ341,589千円（24.3%）減少し、1,066,560千円となりました。

これは主に短期借入金が250,000千円（33.3%）および未払法人税等が65,019千円（57.5%）減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度と比べ150,792千円（3.7%）増加し、4,255,134千円となりました。これは当期純利益で204,511千円を計上したものの、剰余金の配当53,720千円により減少したものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローを374,695千円確保し、投資によるキャッシュ・フローは11,635千円の収入に対して、財務活動によるキャッシュ・フローは383,620千円の支出となったことなどにより、前連結会計年度末に比べ2,731千円増加（前連結会計年度は41,831千円の増加）し、127,634千円となりました。

また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期利益308,679千円、減価償却費263,179千円により、当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは374,695千円の収入（前年同期は906,921千円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産取得による4,629千円の支出、差入保証金の回収による16,250千円の収入により当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは11,635千円の収入（前年同期は111,248千円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の返済250,000千円、および長期借入金の返済279,900千円等により当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは383,620千円の支出（前年同期は753,980千円の支出）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期
自己資本比率	58.6	63.5	56.2	61.7	67.1
時価ベースの自己資本比率	21.2	27.6	27.9	29.0	32.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	18.4	1.9	6.6	1.8	3.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	24.8	269.9	108.7	263.3	148.6

(注) 1. 時価ベースの自己資本比率は、株式時価総額／総資産により算出しております。

2. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

3. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

4. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

5. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済状況が厳しい状態で推移することが予想され、特に服飾事業において、今後はマイナス基調の推移が予想されます。

このような状況から2021年8月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び景気回復が不透明であることから合理的な数値にて開示することが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。なお、2021年8月期の連結業績予想につきましては、合理的に予想可能となった時点で速やかに公表いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	124,903	127,634
受取手形及び売掛金	67,721	48,159
商品及び製品	323,728	332,286
原材料及び貯蔵品	49,854	41,390
その他	43,940	25,255
貸倒引当金	△115	△746
流動資産合計	610,032	573,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,808,709	4,811,909
減価償却累計額	△2,440,800	△2,645,907
建物及び構築物 (純額)	2,367,909	2,166,002
機械装置及び運搬具	458,118	458,118
減価償却累計額	△96,651	△140,114
機械装置及び運搬具 (純額)	361,467	318,004
土地	3,019,095	3,019,095
その他	184,147	185,576
減価償却累計額	△173,610	△177,581
その他 (純額)	10,536	7,995
有形固定資産合計	5,759,008	5,511,097
無形固定資産	37,076	27,458
投資その他の資産		
繰延税金資産	76,096	81,169
その他	176,481	148,391
貸倒引当金	△8,731	△1,336
投資その他の資産合計	243,847	228,224
固定資産合計	6,039,932	5,766,780
資産合計	6,649,964	6,340,761

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,307	2,672
短期借入金	750,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	279,900	318,600
未払費用	42,945	42,750
未払法人税等	113,153	48,134
賞与引当金	2,554	1,212
その他	214,289	153,190
流動負債合計	1,408,150	1,066,560
固定負債		
長期借入金	485,440	366,840
役員退職慰労引当金	202,716	206,283
資産除去債務	220,014	221,142
その他	229,300	224,800
固定負債合計	1,137,471	1,019,066
負債合計	2,545,621	2,085,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	3,547,835	3,698,627
自己株式	△476,131	△476,131
株主資本合計	4,104,342	4,255,134
純資産合計	4,104,342	4,255,134
負債純資産合計	6,649,964	6,340,761

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	1,903,915	1,574,948
売上原価	945,354	810,825
売上総利益	958,560	764,123
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	32,819	25,336
役員報酬	58,510	53,983
給料及び賞与	271,406	181,555
貸倒引当金繰入額	7,579	△139
賞与引当金繰入額	2,554	1,212
退職給付費用	3,655	2,742
役員退職慰労引当金繰入額	5,333	5,000
法定福利費	37,235	27,242
賃借料	44,373	37,302
減価償却費	23,496	22,004
その他	122,102	110,239
販売費及び一般管理費合計	609,067	466,478
営業利益	349,493	297,645
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	10,695	-
助成金収入	-	8,693
貸倒引当金戻入額	237	-
その他	7,087	1,523
営業外収益合計	18,019	10,217
営業外費用		
支払利息	3,373	2,521
為替差損	240	269
会員権償還損	1,500	-
その他	739	62
営業外費用合計	5,853	2,854
経常利益	361,659	305,008

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
特別利益		
受取保険金	90,445	3,671
特別利益合計	90,445	3,671
特別損失		
災害による損失	81,377	-
店舗閉鎖損失	2,090	-
特別損失合計	83,468	-
税金等調整前当期純利益	368,636	308,679
法人税、住民税及び事業税	134,342	109,240
法人税等調整額	△6,972	△5,072
法人税等合計	127,370	104,168
当期純利益	241,266	204,511
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	241,266	204,511

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
当期純利益	241,266	204,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△217	-
その他の包括利益合計	△217	-
包括利益	241,048	204,511
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	241,048	204,511
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	564,300	468,338	3,360,289	△476,131	3,916,796	217	217	3,917,013
当期変動額								
剰余金の配当			△53,720		△53,720			△53,720
親会社株主に帰属する当期純利益			241,266		241,266			241,266
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△217	△217	△217
当期変動額合計	-	-	187,546	-	187,546	△217	△217	187,328
当期末残高	564,300	468,338	3,547,835	△476,131	4,104,342	-	-	4,104,342

当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	564,300	468,338	3,547,835	△476,131	4,104,342	-	-	4,104,342
当期変動額								
剰余金の配当			△53,720		△53,720			△53,720
親会社株主に帰属する当期純利益			204,511		204,511			204,511
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						-	-	-
当期変動額合計	-	-	150,791	-	150,791	-	-	150,791
当期末残高	564,300	468,338	3,698,627	△476,131	4,255,134	-	-	4,255,134

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	368,636	308,679
減価償却費	265,309	263,179
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,342	△6,764
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△971	△1,342
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,333	3,566
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	3,373	2,521
為替差損益 (△は益)	△138	△20
受取保険金	△90,445	△3,671
売上債権の増減額 (△は増加)	45,843	19,561
たな卸資産の増減額 (△は増加)	87,330	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	97	△2,634
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,105	18,684
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	172,757	△60,511
その他	2,994	△1,260
小計	863,356	539,892
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△3,277	△2,581
補助金の受取額	10,695	-
保険金の受取額	90,445	3,671
助成金の受取額	-	8,693
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△54,299	△174,981
営業活動によるキャッシュ・フロー	906,921	374,695
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△121,749	△4,629
投資有価証券の売却による収入	1,012	-
差入保証金の差入による支出	△68	-
差入保証金の回収による収入	9,557	16,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,248	11,635
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△450,000	△250,000
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	△250,260	△279,900
配当金の支払額	△53,720	△53,720
財務活動によるキャッシュ・フロー	△753,980	△383,620
現金及び現金同等物に係る換算差額	138	20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41,831	2,731
現金及び現金同等物の期首残高	83,072	124,903
現金及び現金同等物の期末残高	124,903	127,634

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数

1社

連結子会社の名称

オーアンドケイ(株)

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

② デリバティブ

時価法

③ たな卸資産

移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。但し、1998年4月以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 3～50年

機械装置及び運搬具 2～17年

上記以外の固定資産 2～20年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき当連結会計年度に見合う分を計上しております。

③ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(5) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社を構成単位とする財務情報に基づき、事業の種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業の種類に基づき、「服飾事業」、「賃貸・倉庫事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

服飾事業……………シェニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウェア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品

賃貸・倉庫事業……不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業、太陽光発電事業

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	892,116	1,011,800	1,903,916	-	1,903,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	892,116	1,011,800	1,903,916	-	1,903,916
セグメント利益又は損失(△)	△61,808	410,179	348,371	1,122	349,493
セグメント資産	662,466	5,504,974	6,167,440	482,523	6,649,964
その他の項目					
減価償却費	10,323	243,383	253,706	11,602	265,309
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	-	121,749	121,749	-	121,749

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去1,122千円が含まれております。

(2)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。

(3)減価償却費の調整額は、主に全社資産の減価償却費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	564,128	1,010,820	1,574,948	-	1,574,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	564,128	1,010,820	1,574,948	-	1,574,948
セグメント利益又は損失(△)	△68,392	364,915	296,522	1,122	297,645
セグメント資産	589,250	5,262,388	5,851,638	489,122	6,340,761
その他の項目					
減価償却費	9,419	242,973	252,392	9,765	262,158
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	983	446	1,429	3,200	4,629

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去1,122千円が含まれております。

(2)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。

(3)減価償却費の調整額は、主に全社資産の減価償却費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり純資産額	1,910.06円	1,980.23円
1株当たり当期純利益金額	112.28円	95.17円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	241,266	204,511
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	241,266	204,511
普通株式の期中平均株式数(株)	2,148,808	2,148,808
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,104,342	4,255,134
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,104,342	4,255,134
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,148,808	2,148,808

(重要な後発事象)

1. 固定資産の譲渡について

当社は、2020年9月8日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の譲渡を決議し、2020年9月28日付
 けで契約締結いたしました。

(1) 譲渡の理由

経営資源の有効活用を図るため。

(2) 譲渡資産の内容

資産の名称	中庄土地
資産の内容	7,215㎡
資産の所在地	泉佐野市中庄

(3) 譲渡する相手先の概要

譲渡先は国内の一般事業会社ですが、守秘義務の観点から譲渡価額、帳簿価額および譲渡先の概要については開示を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社グループとの間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者への該当状況に関し、特筆すべき事項はございません。

(4) 譲渡の日程

取締役会決議日	2020年9月8日
契約締結日	2020年9月28日
物件引渡期日	2021年1月(予定)

(5) 損益に及ぼす重要な影響

当該固定資産の売却により、当連結会計年度において固定資産売却益260百万円(概算)を特別利益として計上する予定です。

2. 連結子会社の合併について

当社は、2020年10月14日開催の取締役会において、当社の100%連結子会社であるオーアンドケイ株式会社との合併
 (2020年12月1日予定)の実施を決議いたしました。

(1) 合併の目的

本合併は、重複する本社組織・物流・販売機能のスリム化を図り、経営効率をさらに高めることを主たる目的として
 しております。

(2) 合併会社の名称及びその事業内容

(存続会社)

株式会社カワサキ

事業の内容 身の回り品等の卸売業、賃貸・倉庫事業、太陽光発電事業

(消滅会社)

オーアンドケイ株式会社

事業の内容 身の回り品等の小売業、賃貸・倉庫事業

(3) 企業結合日

2020年12月1日(予定)

(4) 合併の方法

株式会社カワサキを存続会社とする吸収合併方式で、オーアンドケイ株式会社は解散いたします。